

2007年度 日本文化人類学会  
第2回 理事会 議事録

日時：2007年6月2日（土） 10:00～11:00

会場：名古屋大学 東山キャンパス文学研究科棟 大会議室

出席者：須藤、上杉、大塚、小田、春日、窪田、栗本、スチュアート、関、田中、棚橋、永渕、松岡、  
松田、三尾、森山、山本、吉岡、和崎

委任状提出：赤堀、瀬川、富沢

〔承認事項〕

1. 前回（2007年度第1回）理事会議事録

〔報告事項〕

1. 会長報告
  - ・第41回研究大会が多数の参加者を迎えて開催されていることについて触れ、理事会開催の挨拶を行った。
  - ・また、途中、名古屋大学の和崎理事より、今大会には当日参加を含め約700名程度の参加者が見込まれること等、研究大会が盛況のもとで開催されていることについて報告された。
2. 庶務理事報告
  - ・新入会員（23名）につき、総務会で入会を承認したことを報告。

〔審議事項〕

1. 2006年度事業報告・2007年度事業計画案について
  - ・小田理事より、資料に基づき前回理事会からの変更点を中心に説明を行い、文言の若干の修正を行った上で承認された。
2. 2006年度決算・2007年度予算案について
  - ・棚橋理事より、資料に基づき説明があり、2006年度決算はすでに承認されていることを確認した。2007年度予算案については前回理事会からの訂正部分について説明の上、承認された。
3. 第2回日本文化人類学会奨励賞授賞理由について
  - ・小田理事より資料に基づき説明があり、授賞理由が承認された。6月3日の総会後の授賞式では庶務担当理事が理由を読み上げることとした。
4. 機関リポジトリへの対応に伴う学会誌掲載論文等の著作権のルール改正について
  - ・山本理事より、資料に基づき説明があり、審議の結果、『文化人類学』72巻3号に利用許諾基準を掲載し、『文化人類学』は73巻1号から、JRCIAはVol.9から適用することを決定した。また、総会での承認が得られた後に、「機関リポジトリに対応する著作権等ルール改正の理事改定案」と利用許諾基準を学会ホームページで会員に対し周知することとした。また、承諾書見本を学会ホームページに掲載することとした。今回の提案に伴う実際の事務的な手続き及び寄稿規定の改定は次回理事会で検討することとした。
5. その他
  - ・森山工総務担当理事より、人類学関連学会協議会の主催による合同シンポジウム（2007年7月16日に第23回日本霊長類学会大会（滋賀県立大学）において開催）についてアナウンスがあった。本学会の会員であれば、日本霊長類学会の大会参加費を支払わずに合同シンポジウムを聴けることが説明された。本件についてはJASCA-INFOで配信することが承認された。
  - ・入会申込書の紹介者の署名欄について自署が疑わしいものについては、紹介者に問い合わせることとした。